

第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立東淀川支援学校
(准)校長名	太田 正義

開催日時	令和3年2月19日(金) 10:00 ~ 12:00
開催場所	大阪府立東淀川支援学校 Web・会議室3
出席者(委員)	奥山委員 中上委員 岩下委員 末浪委員 岡委員
出席者(学校)	太田校長 久井教頭 川村教頭 加藤事務長 石田首席
傍聴者	無し
協議資料	学校教育自己診断結果について(報告) 令和2年度学校経営計画及び学校評価(案) 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	

議題等(次第順)	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育自己診断結果について 2. 令和2年度学校経営計画及び学校評価(報告)について 3. 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)について 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議システムを利用して開催した。その中で学校教育自己診断結果の分析結果、令和2年度学校経営計画及び学校評価の達成状況、令和3年度学校経営計画の基本的方針等について報告説明を行った。</p> <p>学校教育自己診断結果について、ホームページの閲覧数は増加しているが肯定的意見は増えていないことは、保護者の立場からどんなものを求めているのかを知る必要がある。学校での様子や保護者から問い合わせのある内容、学校発信のプリントなどがダウンロードできるようにすることでホームページの浸透につながるとの意見をいただいた。ICT活用については、教職員の指導力向上が各校で課題であり、ICT活用についての教職員の能力を伸ばしていく環境の整備、研修体制の充実が必要である等の意見をいただいた。ホームページの体制についてスピーディーに情報発信できるように分業して取り組んでいく。</p> <p>令和2年度学校経営計画及び学校評価について、コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった取組みもあったが全体として学校は学校運営に努力して取り組んでおり、保護者からの学校アンケート結果でも一定の肯定的評価を得ているとの意見をいただいた。</p> <p>令和3年度学校経営計画では令和4年度までに達成すべき目標があり方向性は変わっていないが、新たにICT活用促進・キャリア教育の視点での授業改善・進路指導・高等部コース制の見直し等に取り組んでいく。コロナウイルス感染症の影響から業務の内容が変わり今までと違う進路指導が必要ではないか、生徒の多様化により療育手帳を持っていない生徒の就労については長期的な戦略が必要である、今後を見通したキャリア教育を考えていく必要があるとの意見をいただいた。学校運営協議会での意見を踏まえて3年間で高等部コース制の見直しに取り組んでいく。いじめ発生時の校内組織の対応について質問があった。文科省の定義に基づいて対応していること、今年度の発生は0件であったことを報告した。教職員の自己診断回答で「わからない」ということは管理職の思いが伝わっていないのではないか、目指す学校像をシンプルにしスローガンなどを活用していくことがよいとの意見があった。</p> <p>各協議内容について活発な意見をいただき協議した後、令和2年度学校経営計画及び学校評価(報告)ならびに令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)についてご承認をいただいた。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和3年 2月19日(金)10:00~12:00
会場	大阪府立東淀川支援学校 図書室